

森で
学ぼう

親子「子ども樹木博士」 チャレンジ！2021

福島森林管理署では平成26年度から、福島民友新聞社との共催で福島市土湯温泉近くの国有林内において樹木博士の認定試験を開催しています。

今年も、7月31日に「森で学ぼう 親子『子ども樹木博士』チャレンジ2021」と銘打ち、新型コロナウイルスの感染症対策として少人数に班をわけ、16家族43名の参加者にて実施しました。

試験木には、遊歩道沿いの樹皮や葉・使われる用途・匂いなど特徴のある樹木15種を選定しました。試験前の班ごとの勉強会では我々森林管理署職員が一つ一つ説明を行い、参加者は熱心にメモをとりながら試験に備えました。



試験では、試験木を行ったり来たり、自分の記憶を呼び起こすのに苦戦しながらも問題に挑戦していました。

採点中の待ち時間に子どもたちは木エクラフトにも挑戦！木の写真立てや木製コースターを熱心に作成していました。

最後に福島森林管理署長から「子ども樹木博士」の認定書が参加者全員に授与され、嬉しそうに受け取っていました。

森林の中のちょっと涼しい感覚や木のぬくもりが体験できた楽しい一日となりました。



当日の様子が福島民友新聞にも掲載されました。

<https://www.minyu-net.com/news/news/FM20210801-643063.php>